

令和6年度 第2回 学校評価(教職員まとめ)

【1】実施時期 令和6年12月3日(火)～12月27日(金)

【2】回答率 教職員数(25)回収数(24) 回答率(96)%

【3】各項目 結果のまとめ

A…あてはまる B…だいたいあてはまる C…あまりあてはまらない D…あてはまらない E…わからない

No	評価項目	AB評価 %	CD評価 %
1	本校は、学校・学年・学級の目標や、重点テーマ目標「伝える つなげる ゴースマイル」を子どもたちに伝えている。	100	0
2	本校は目指す学校「子ども主体学校」の実現に向けて重点コンセプト「自立・主体・自主」(KDD)に取り組んでいる。	96	4
3	本校が石川中学校、宇津木台小学校と合同で行う取組は、教育的な効果をあげている。	63	17
4	本校は、子どもたちが安心・安全に過ごせるように、避難訓練などの安全管理に取り組んでいる。	100	0
5	自分が担当する学級、教科および職務において、教育活動全体(「特別な教科 道徳」を含む)を通して、子どもたちが自分の大切さ、他の人の大切さを認め、行動することができるように指導している。	100	0
6	本校はいじめの未然防止、早期発見、早期対応等、いじめを許さない学校づくりに組織的に取り組んでいる。	100	0
7	自分の担当する学級および教科において、子どもたちが授業や学校行事に意欲的に取り組めるように支援している。	100	0
8	自分が担当する授業では、説明、板書、話し合い活動、ICT機器(1人1台の学習用端末を含む)の活用などの工夫に取り組んでいる。	100	0
9	自分が担当する教科において、子どもの学習活動に対する評価を適切・公平に行っている。	100	0
10	本校は、子どもがよりよい生活を送ることができるようにするため、学校の生活指導の目標やきまりを守るように取り組んでいる。	96	4
11	自分の担当する学級、教科および職務において、「はちおうじっ子 キャリア・パスポート」等を用いて、子どもの生き方や将来について指導している。	92	8
12	本校は、授業で使う教室や廊下、オープンスペース、体育館、校庭等を児童が安全で快適に学習ができるように整備している。	93	4
13	本校は保護者に対して適切に情報を提供している。(学校便り、学年便り、ホームページ等)	92	8
14	本校は、特別支援教育に適切に取り組んでいる。	100	0

評価項目に対する意見

令和6年度上半期の小宮小学校を振り返り、成果としてあげられること、次年度以降にも継続していきたいことを入力してください。

子どもたちがこれまでの経験と持ち味を生かしてKDDで取り組もうとする意欲が感じられる場面があった。

KDDを昨年から引きつぎ、今年もその言葉を意識して自立を子ども達がよく考えていると思う。次年度、3学期も、言葉はかわっていいとも思うので、自主自立を促すモーワードがあるといい。

KDDで頑張ろうという気持ちをもって取り組んでいる子が多い。引き続き、継続して取り組んでいきたい。

KDDで行事を作り上げられたと思う。

児童が、主体的にやろうとする気持ちや技能が育ってきている。

児童が主体的に取り組めるよう支援できている。

子どもたちの主体性が育まれてきていることが成果として挙げられる。今後も子どもたちがいきいきと過ごせるように学校生活を支援していきたい。

児童が主体的に委員会やクラブ活動、集会活動に取り組んでいること。

15

運動会や文化祭のイベントに向けて一丸となって取り組むことが出来た。

こみっきいの取り組み、学級との連携など、職員室で対面で話すことでより良い指導につながっていると思う。

学級で問題が発生したときに組織的に学校全体で組織的に解決に動くことができたのが成果だと感じる。日々の情報交換や管理職への報告を大切に下半期も活動していきたい。

行事を通して、子どもたちが輝けるように、練習の過程や本番を通じて教師の工夫がたくさん見られた。

全校で集まった時に、静かに話を聞くことが身についてきている。

生活態度が少し改善してきたように感じる。

行事で子どもたちが成長できたこと。

学年目標を意識させながら、行動したり活動したりすることができたこと。

テニスボールでの騒音削減。

清掃活動での異学年交流

朝会などで、校長先生が子ども達に伝えている「終わりよければすべて良し」の言葉が、とても良いと感じている。自分の気持ちを前向きに切り替えることが、まだ苦手な子ども達の心にも響く言葉だと感じるので、2学期以降も継続して子ども達に伝えていきたい。

令和6年度上半期の小宮小学校の教育活動を振り返り、課題と感じたことを入力してください。

挨拶、基礎的な学習、学力の向上、算数の思考力を上げたい。

特に算数の学力が高くないと感じる。

学習に対して意欲的に取り組めない児童が増えてきていること。

教職員の指導力の向上及び児童の学力の定着が課題と感じる。どちらの課題を解決するにも時間の確保が必要だと感じる。行事の精選や学習課程を工夫することで時間を生み出し、教員・児童両者にとって効果的な指導が行えるようにしていきたい。

運動会と文化祭を、2学期に連続して行っているが、子どもも先生方も、負担が大きい。以前より運動会が軽めになったので、1学期に戻す…など検討してはどうか？

2学期の行事が立て続けにあり、子どもたちも教師も忙しく慌ただしく感じた。

業務内容の取捨選択、質の良い教育を行うために内容の確認していく必要がある。

16

学校内のことが一切関係ない学校外のトラブル(お金の貸し借りや、ゲーム上のトラブル)の解決が時間的にも、心身共にかなり負担でした。

たてわり活動がないこと。

異学年交流の機会があまりないことが原因かはわからないが、異学年でのトラブルが多い。

廊下を走る子が多いこと。

1年生と6年生以外は、縦割りの活動の機会がなかなかないので、大縄大会やドッチボール大会など授業時間外での縦割り活動が増やせるといいと思う。

委員会やクラブ等の特別活動では、高学年としての責任をもう少しもたせていきたい。昨年度のキーワードは「たてわり」で、今年も引き継いでいると思うので。

廊下やオープンスペースの歩行の仕方や、登下校・放課後遊びの中でのマナーや安全な過ごし方を、どの学年でも繰り返し指導をしているが、なかなか身につかない児童がいる。声を掛け合って“気をつけなくちゃ”と思いながら過ごしている子ども達も沢山いるが…。

オープンルーム、教室の環境整備がまだできそうだと感じています。

日々いろいろある中で、お互いに気持ちよく楽しく働けるような環境をお互いに築いていきたいと感じた。